

第11回 定例ワールドカフェ (9/17) 感想 (2022.10.12 現在)

話題提供：アウトリーチとしての高校内居場所カフェ

提供者：石原昴侑さん（特定非営利活動法人あそと・大阪府立高等学校 SSW）

当日参加者：14名

感想（Google Form）回答者：4名（分野\_教育1名、医療2名、福祉・福祉行政1名）

- ・今日はとても素晴らしい活動内容を聞かせて頂きありがとうございました。色々な人がいて当たり前なのに、とても生きにくく現状。こうあるべきや、〇〇でなければならないという縛りばかりの社会。もっと自由に息ができる場所があっただけいいのでは、と今回のお話を聞いて思いました。居場所、気の合う仲間との出会い、社会との折り合いなど、色々考える機会となりました。本当にありがとうございました。
- ・石原さんの取組みとやさしいまなざしがよいなあと思いました。自分の地域にも子どもたちが集えるスペースを作りたいなあという思いがあります。短い時間なのですが、参加者も少ないですし、全員のお話を聞きたかったです。
- ・当日参加できなかったことが大変残念だったなあ、と思っています。私が所属しているNPOの元代表が、西成高校でカフェを最初に始めたこともあり、以前から興味がありました。しかも、市役所の保護課で仕事をしていた時、何度も伺っていた野崎高校と茨田高校でやっておられて、もっと早くお会いしたかった～と感じました。「安心安全」「その子の文化」という言葉にも本当に「そうそう！！」と思わず相槌をうっていました。そして、SSWが本当の意味で働いてくださっている学校では、こどものためにできることが本当に増えますし、将来のひろがりも全く違っていると実感しています。今は市役所で家児相の心理相談を担当していますが、中学校までは何かと連携もできますが、高校となると少し敷居が高いと思ってしまいます。こうやって顔を見てお話しする機会があれば、また関係性も変わってくるのでしょうか。今後もまたお話しする機会がありますようにと願っております。
- ・石原さんの行動力と志に、元気をいただきました。石原さんのお話の中にあっただけ、多くの人と合わなくても、自分以外の誰か一人と心を通わせる時間や機会があれば、人は生きることができる、幸せに感じることができる。感動しました。誰もいないという人が一人もいない社会になったらなあと思いました。繋ぐ場、話したり交わったりする時間、皆違って皆いいという心…、広がるといいなあと思いました。私も頑張ろうと思えました。